

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	943 治山林道維持経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
基本施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	目	02	林業振興費
		細目	324	治山林道維持経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	治山林道維持経費
担当部課	コード	600100		担当者氏名
	名称	島ヶ原支所 振興課		
		連絡先	59 - 2294 (内線)	45

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	山林所有者 観光客	※対象件数
成果(どうする)	山林所有者等が安全に林道を利用して、山林管理作業を行える。 観光客が安全に林道を利用して、景観等を楽しめる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 危険木緊急伐採業務委託 法面整理業務委託 草刈業務委託 注意看板作成 林道点検維持管理に伴う消耗品費の支出 林道沿線清掃業務委託 林道崩落土除去工事 	
社会情勢の変化等	危険木の伐採を行ったことにより、土砂崩落がほとんど起こらなくなった。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	1 人
3 年間運営費	690 千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値		
			H20	H21	H22	H23	
林道点検維持管理回数		回数	目標	36	36	36	36
			実績	36	36		
治山林道維持経費補修箇所		箇所	目標	3	3	3	3
			実績	3	3		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値		
				H20	H21	H22	H23	
治山林道維持補修箇所		治山林道の維持補修を行うことによって、通行に支障のない状況を維持する。	箇所	目標	3	3	3	3
				実績				
				目標				
				実績				

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	659	484	690	690	690	690	690	
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	659	484	690	690	690	690		
事業投入人件費(B)	0.5 人	3,600	0.5 人	3,600	0.5 人	3,600	0.5 人	3,600
フルコスト(A)+(B)	4,259	4,084	4,290	4,290	4,290	4,290		

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	治山林道の内三国越林道については、長年の風雨等により法面の崩落箇所が多く、過去において適宜災害復旧事業の採択を受け事業を実施しているが、調査の結果、危険箇所が30箇所程度あることが判明し、平成19年度に緊急の対策として立木の伐採を行った。しかし、あくまでも応急の対策であるため、これまで同様に県単・国補事業を活用し、林道の整備を行っていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増永 由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 治山林道については、通行者の安全確保のため計画的に点検及び維持管理を行うと共に、山林所有者や観光客等が安全に林道が利用できるよう努める。
現時点における課題、その他	治山林道の内、三国越林道については風雨等により法面の崩落箇所が多いため順次整備していかなければならない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	計画的に点検や危険箇所の整備を行うと共に、引き続き維持管理を行う。